
7TH DRAGON 2020 ANOTHER DAYS

霊宮空刀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

7TH DRAGON2020 ANOTHERDAYS

【Nコード】

N0400Z

【作者名】

霊宮空刀

【あらすじ】

一人の少年がいた。その少年は剣を取り、竜を狩りつくしていく。今日も……

初めに

注意！！

この作品には『主人公チート。しかし度合いがとてつもない』と『登場人物少なすぎる』と『設定を借りているだけ』の三つがあります！なお、主人公チートは魔物、ドラゴン、帝竜などと戦う為のチートです。それでも人類最強なのですが。

チートの度合い　クウガタイタン＋クウガドラゴン＋クウガアルティメットのいいところを全部足した感じです。

登場人物の少なさは、作中で人類を主人公以外・・・・・・・・の予定なので少ないのです。

設定を借りているだけは、そもそもムラクモ機関がでず、SKYなどの組織もません。そこを注意して読んでください。

それでは、どうぞ

FIRST DAYS

「面白くな～な」

そうつぶやいたのは、主人公でもある朝霧空也。空也は屋上で寝そべりながら空を見上げていた。しかし、彼の視界に不自然なものが映った。

「な、何だよこれ・・・？」

空也の手にはセブンスドラゴン2020本編でサムライが手に入れることのできる武器、千鳥が握られていた。それを一回引き抜くと、空也が地面に膝をつく

「な、なんだよこれ・・・何かが・・・流れ込んで・・・ぐう・・・」

瞬間、空也はぶつ倒れた。しかしすぐに起き上がると千鳥を鞘にしまい、服のベルトに挟み込んだ。だがすぐに空也は両手で頭を押さえこみその場にうずくまる

「はい・・・って・・・くる・・・なあ！！！！！！」

そう叫ぶと頭を一気に振って何かを取るように動く。そして空也はその場に座り込むと息を荒げながら空を見上げる。その真上を何百匹もの竜が通り過ぎて行った。竜が通り過ぎた後には赤い花が大量に咲き乱れ、空也の周りを包み込む。さらに竜は街を襲撃し、次々に人間を惨殺していった。

「何なんだよ！？日本刀が落ちてきて乗っ取られかけて、拳銃の果てには日本滅亡か！？夢だと信じたいぜ！」

空也は1秒で屋上から降りる階段へ走り込むと、わずかな時間でグラウンドまでついていた。その時に彼が見た光景は凄惨な者だった。人の死体は食いちぎられて、身体の臓器が露出し、首から上がない死体もあつた。普通の完成なら嘔吐する者もいる。それと同じように空也は

「う．．おえええ！！！！！」

その場で嘔吐し、千鳥を杖にしながらふらふらと立っていた。その間にも学校の生徒は喰い殺されていて、空也一人では何もできない状況になっていた。空也は無言でその場から駆け出すと、走りながらこう考える

「（夢で．．．夢であつてくれ！！！！こんな悪夢．．．こりこりだ！！！！）」

そう考えながら走り、自分の家へと飛び込む。

「うう．．．夢．．．だよな、夢、だよ．．．なあ．．．」

自分を殴ったりつねったりしながら空也は夢であることにしようとしたが、悲しくもそれは現実だった。空也はそれを確認しながら、千鳥を握りしめ、また置くと言った

「．．．．．仕方ない．．．これが現実なら．．．受け入れるしか．．．．ない」

そう言つて汚れた服を脱ぎ捨て、水色の服を着、ズボンをはき、フ
ードをかぶるところつぶやいた。それはこれからの戦いの始まりを
示す合図でもあり、同時に空也の終らない戦いを始める言葉でもあ
った

「竜を、狩りつくしてやる！！！！」

そう言つて千鳥を抜刀すると、トンボ斬りという技で家の壁をふつ
飛ばし、そして近くに居たタワードラグの上に飛び降りると、タワ
ードラグの頭を突き刺して絶命させる。それをみたドラグライアー
ンが風切羽で攻撃してくるが空也はそれをよけるとドラグライアー
ンに袈裟切りを行い、ドラグライアーンを一刀両断する

「（何だ……まるで歴戦の兵士の戦い方が染みついている？）」

そう考えて少し隙が出来ると、デストロイドラグの拳が空也の体に入
った

「ぐはあ！！」

空也は吹っ飛ばされて、身体がぐちゃぐちゃになってつぶれるかと思
いきや、飛ばされた先の電柱に足をつけると、衝撃を利用してデ
ストロイドラグまで迫りながら刀を居合の形にし、フブキ討ちと言
う技を使用してデストロイドラグを凍りつかせる。さらに抜刀して
斬り、デストロイドラグを真つ二つにする

「（俺……こんなに身体が強靱か？それに変な技まで使いこなし
ているし……）」

空也は変わった自分に疑問を抱きつつも、その場にいた残りの竜・

・リトルドラグ3体を軽く切り刻むと、千鳥を鞘に収めながら歩き始める。その道には、何が待っているのかは定かではない。そして、それを見ている一人の少女がいた

「・・・・・・・・・・」

ドレスを着ていて、緑色の髪にツインテールの少女が、空也の走りさって言った先を見、また自分も空也を追いかけるようにして走って行った。そのあとにはドラゴンが2体ほど来ていてあの少女を探しているようにも見えた

FIRST DAYS (後書き)

登場ドラゴン

タワードラゲ

足が異常に長いドラゴン。毒系の技を使う

ドラグライアーン

飛行する至って小さいドラゴン。だがつんざく羽音などで混乱させ、混乱している隙に相手を攻撃するドラゴン

リトルドラゲ

まだまだ小さいドラゴン。他のドラゴンと違いそれほど強くはない
デストロイドドラゲ

大きく、強そうなドラゴンで人型に近い、拳にメリケンサックのようなものをはめており、その拳から放たれるパンチは常人なら即死する。また、ジャンプキックも相当の強さを誇る

登場武器

千鳥

サムライが使える武器で、物語の都庁改修とある条件をクリアすると手に入る武器

修正&増量

朝霧空也 〔ASAGIRI KUUYA〕

名前：朝霧空也

性別：男

年齢：17

容姿：公式サイトのサイキック男

性格：良くも悪くも普通の人間。しかし、千鳥から流れたものではあるものの戦闘では冷静な事を考えることが可能で、激高することもない

武器：サムライ専用武器『千鳥』

説明：至って普通の生活をしていた高校二年生であり、日常に退屈していた。成績はとても優秀であり、将来も期待されていたが面白みを探していたところで千鳥を手にして、魔物、ドラゴン、帝竜に戦いに巻き込まれることとなる。空也の存在は特別らしく、謎の少女などにそう言われて行くこととなる。友達はほとんどいないらしく、家族ともぎこちない関係が続いている。ちなみに両親のほかに自分と同じくらいできがよく、言うことをよく聞く妹が存在する。空也曰く「奴隷」らしい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0400z/>

7TH DRAGON 2020 ANOTHER DAYS

2011年12月1日19時56分発行